JVC

取扱説明書

ワイヤレスヘッドホンシステム
型名 HA-WD100

＊ お買い上げありがとうございます。

● ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

保証とアフターサービス

● 保証書は必ずお受け取りください
この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

● 保証期間について
保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証書の規定に従って、お買い上げ販売店にて修理させていただきます。その他詳細は保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

● 補修用性能部品の保有期間について
当社は、このワイヤレスヘッドホンシステムの補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理を依頼されるときは
「故障かな?と思ったら」の各項目をよくお読みのうえ、再度お調べください。それでも症状が改善されないときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

ワイヤレスヘッドホンシステム
[HA-WD100]
お名前とおところ
電話番号
故障症状(詳しく)

なお、修理のご用命の際は、必ず本システム全体をご持参ください。

● アフターサービスについてご不明な点は
ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87

携帯電話・PHS・一部のIP電話・
FAXなどからのご利用は
電話 (045) 450-8950
FAX (045) 450-2308
〒221-0022
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ホームページ http://www.jvckenwood.co.jp/
株式会社 JVCケンウッド
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

LNT0143-001A

主な仕様

一般仕様

送信周波数帯	2.4 GHz 帯
変調方式	FH-SS方式
受信距離	約 30 メートル (使用条件によって変わります。)

送信機(HA-WD100T)

電源	DC 5 V (専用のACアダプター使用)
音声入力	ピンジャック×2
外形寸法	幅 20.0 cm × 高さ 6.2 cm × 厚さ 13.2 cm
質量	約250 g

ヘッドホン(HA-WD100H)

型式	ダイナミック型 スピーカーユニット: 口径40 mm
再生周波数帯域	30Hz～22,000Hz
電源	付属の専用充電式ニッケル水素電池 (1.2 V/700 mAh)×2
電池持続時間	約10時間 (1mW+1mW出力時) (付属の専用充電式ニッケル水素電池使用時) (使用条件によって変わります。)
質量	約250 g (付属の専用充電式ニッケル水素電池×2含む)

・本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

ワイヤレス機能について

- 本製品は電波法および電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、技術基準適合証明を受けております。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- 本製品は、日本国内のみで使用いただけます。
- 以下の行為は法律で罰せられることがあります。
  - 分解や改造を行う。
  - 本体に貼り付けている技術適合証明ラベル(㊜マークを含むラベル)をはがす。
- 本体の無線表記について

2. 4 FH8
▬▬ ▬▬ ▬▬

2.4:	2.4 GHz帯を使用する無線設備を表します。
FH:	FH-SS方式を表します。
8:	想定される与干渉距離が、80メートル以内であることを表します。
▬▬ ▬▬ ▬▬:	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

- 本製品と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音が途切れたりノイズ(雑音)が出る場合があります。
  また、本製品からも他の機器に影響を与える可能性があります。そのような場合は、干渉する機器を離したり設置する向きを変えるなどしてご使用ください。

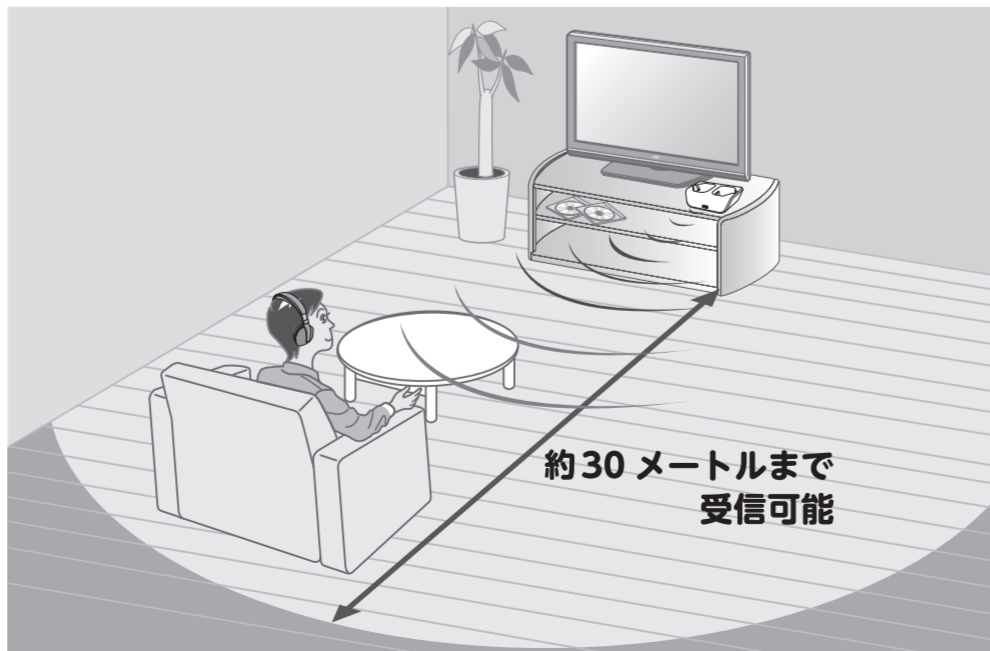
■ 本製品は2.4 GHzの周波数帯域を使用します。他の無線機器との干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用しています。

- **本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用していないことを確認してください。**
- **万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止(電波の発信を停止)してください。**
- **そのほか、「他の無線局」に対して有害な電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。**

ワイヤレスヘッドホンの受信距離について

本製品は、送信機に接続した機器の音声をヘッドホンで無線受信します。
送信機から受信可能な距離は、約30メートル*です。

* 送信機から受信可能な距離は、周囲の環境や建物の構造により異なります。
送信機とヘッドホンの間に電波をさえぎる障害物(金属のドア、壁など)があると、受信距離は短くなります。また、送信機は電波を反射しやすい壁の近くや、電波を放射しにくいスチールラックなどの場所を避けて設置してください。

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●絵表示について
製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

●絵表示の説明

注意をうながす記号
行為を指示する記号
行為を禁止する記号
⚠ **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

■ 万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。
- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物が入ったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コード(ACアダプター)が傷んだとき

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を「切」にし、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
故障、火災・感電の原因になります。

■ この機器を分解・改造しない。
故障、火災・感電の原因になります。

■ 火のそばや熱器具の周辺など高温になる場所で、使用したり、充電したり、放置しない。

■ コネクターをショートさせない。また、金属製のネックレスやコインなどの金属小物といっしょに保管しない。

■ 心臓にペースメーカーを装着している方は使用しない。
ペースメーカーが、本システムの電波の影響を受ける恐れがあります。

■ 病院などの医療機関、医療機器の近くでは本製品を使用しない。
電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。

■ ニッケル水素充電池と本機の取り扱いについて
充電するときは必ずこの機器(ヘッドホン、送信機)を使用する。この機器で、付属の充電池以外を充電しない。

⚠ 注意

■ 水や海水などにつけたり濡らさない。また、手がぬれた状態で電池に触らない。

■ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。

■ 電源プラグ(ACアダプター)を抜くときは電源コードを引っ張らない。
コードに傷がつき、火災・感電の原因となります。 必ず電源プラグ(ACアダプターの本体)を持って抜いてください。

■ ACアダプターの取り扱いについて
- この機器には専用のACアダプターをご使用ください。それ以外のものを使用すると、故障、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターを布や毛布でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因になることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

■ 濡れた手でACアダプターを抜き差ししない。
感電の原因になります。

■ 不安定な場所に置かない。
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

■ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。
電源が切れていても本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

■ 手が濡れた状態で送信機やヘッドホンの充電端子を触らない。

■ ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。
頭からかぶると窒息の原因となります。

充電式電池・乾電池について

⚠ 警告

■ 電池のプラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを正しく入れる。
電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 火の中に投入したり、加熱しない。

■ 電池をショートさせない。また、金属製のネックレスやコインなどの金属小物といっしょに携帯または保管しない。

■ 変形させたり、分解、改造したり、直接はんだ付けしない。
故障、火災・感電の原因になります。

■ 電池を小さなお子様の手の届くところに置かない。
誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。

■ 充電の際に所定の充電時間(約7時間)を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。

⚠ 注意

■ 付属電池以外の充電池または乾電池は使用しない。
充電池または乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 万一、漏れた液体が目に入ると、失明の恐れがあるので、こすらないですぐにきれいな水で洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。また、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に障害を起こすことがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

■ 種類の異なる電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

■ 水や海水などにつけたり濡らさない。また、手がぬれた状態で電池に触らない。

■ 長時間使用しない場合は、使用機器から電池を取り出して、常温の湿気の少ないところで保管する。
電池から液がもれて、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。

充電式電池のリサイクルについて

このマークはニッケル水素充電池のリサイクルマークです。

付属の充電式電池にはリサイクル可能なニッケル水素充電池を使用していますので、ご使用済みの充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
(付属充電池の金属部分にテープを貼り、絶縁をしてお持ちください。)

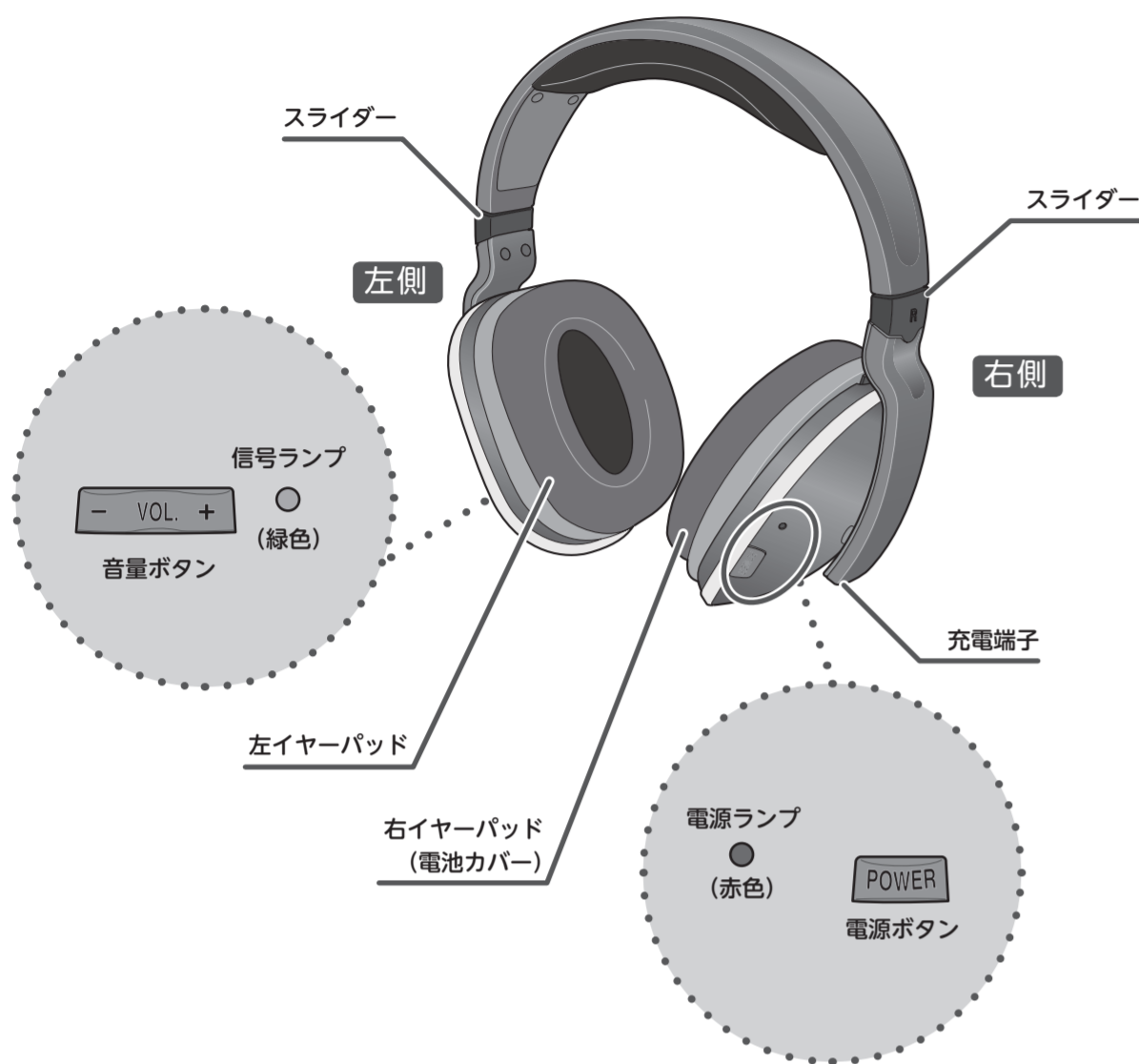
お問い合わせ:有限責任中間法人JBRC http://www.jbrc.net/hp/

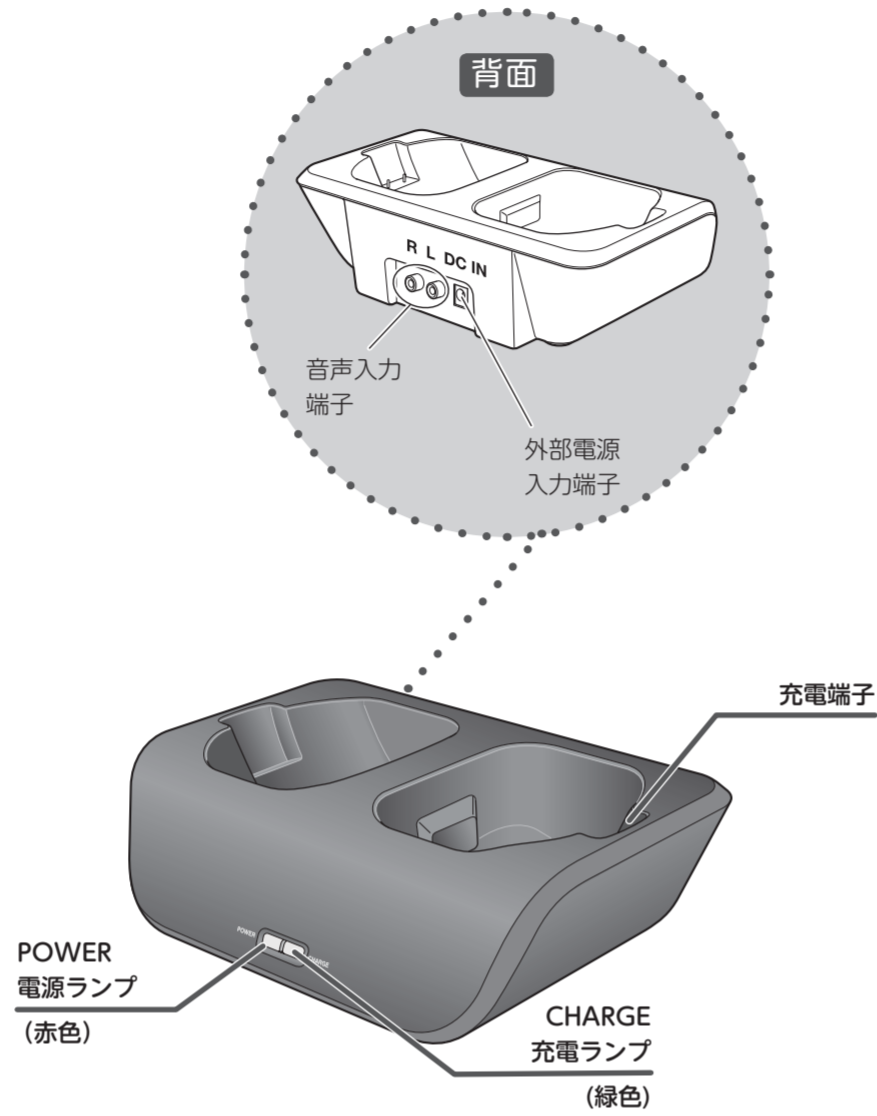
付属品・添付物

- 保証書 ×1
- 取扱説明書 ×1
- 専用ACアダプター ×1
- 接続コード ×1
  (φ3.5 mm ステレオミニプラグ-ピンプラグ×2)
- 専用充電式ニッケル水素電池
  (JD1010-000A) ×2

部品交換・購入の際には

以下の部品は消耗品です。
ご購入の際、またはお問い合わせの際は、下記の型名と品名、部品番号を、本製品をお買い上げいただいた販売店、または最寄りのサービス窓口へお伝えください。
型名:HA-WD100
品名:専用充電式ニッケル水素電池
部品番号:JD1010-000A
品名:イヤーパッド(2個1組)
部品番号:JD9084-000A
品名:専用ACアダプター
部品番号:JD1011-000

ヘッドホンを使う

はじめてお使いになる場合は

本機は充電式のヘッドホンです。お買い上げ時には十分に充電されていません。
お使いになる前に「電池を入れる」、「充電する」の項目をご覧になり、必ず充電を行なってください。

接続する

接続コードを抜き差しするときは、接続するソース(音源)機器の電源を切るか、音量を最小にしてください。

1. 送信機の外部電源入力端子にACアダプターを接続する。
2. コンセント(家庭用AC100V)に接続する。
   送信機の電源ランプ(赤)が点灯します。
   - 故障の原因になりますので、必ず付属の専用ACアダプターをご使用ください。
   - 長時間お使いにならないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
3. ソース(音源)機器のヘッドホン端子と送信機の音声入力端子を接続コードで接続する。

ご参考に
テレビのヘッドホン端子にプラグを接続するとテレビのスピーカーから音が出なくなる場合があります。テレビのスピーカーとヘッドホンの両方から音を出したい場合は、次の２つの方法をお試しください。
1. テレビ側の音声出力設定をテレビのスピーカーとヘッドホンの同時出力に設定する。(設定はテレビのメニュー画面などからおこないます)
2. テレビにモニター出力端子がある場合は、モニター出力端子に別売の変換オーディオコード(CN-181G)を接続する。

※ テレビのヘッドホン端子やモニター出力端子の出力仕様や設定の詳細はテレビの取扱説明書をお読みください。

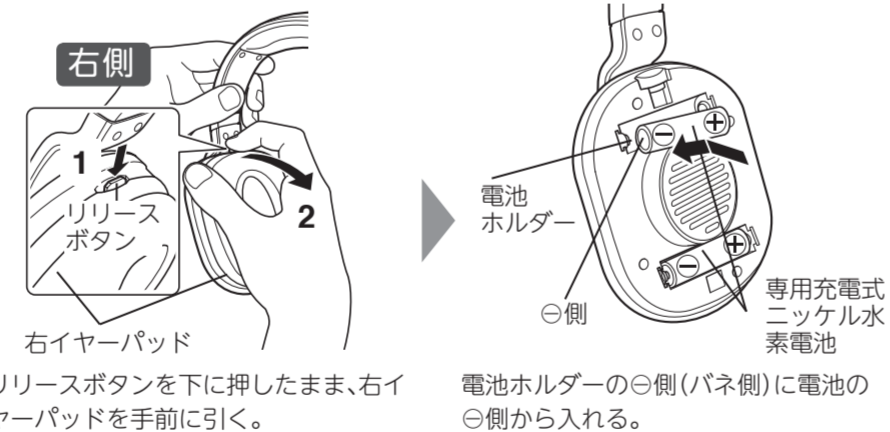
電池を入れる

- **電池を入れる前に、ヘッドホンの電源ランプが消えていることを確認してください。**
- **お買い上げ時の専用充電式ニッケル水素電池は満充電になっていません。満充電にしてご使用ください。**
- **付属の電池以外の充電池または乾電池は使用しないでください。**

1. 右イヤーパッドをはずす

リリースボタンを下に押したまま、右イヤーパッドを手前に引く。

2. 電池を入れる

電池ホルダーの⊖側(バネ側)に電池の⊖側から入れる。

3. 右イヤーパッドを取り付ける

1. 右イヤーパッドの上下を確認する。(裏側のUP表示が上)
2. 右イヤーパッドの下側にある爪を下穴にかける。
3. 右イヤーパッドの上側にあるリリースボタンを上穴に入れて固定する。カチッと音がします。

● 金属などの異物が入らないように注意してください。

充電する

1. 電源を切る
   電源ランプが消えていることを確認する
2. スライダーを縮める
   スライダーを一番短い状態にする
3. ヘッドホンを置く
   ヘッドホンの右(R)側と送信機の充電端子を合わせる

送信機の充電ランプ(緑)が点灯しない場合は、ヘッドホンがきちんと置かれているかお確かめください。

充電の目安
- 音が出ないとき。
- 音が歪んでいるとき。
- ヘッドホンの受信距離が短くなったとき。
- 電源ランプがつかないとき。

充電時間の目安
- 充電池の残量が無い状態から約6時間で満充電になります。
  ＊満充電で約10時間使用できます。(使用条件によって変わります。)

充電端子

送信機の充電端子にゴミやほこりがたまらないようにしてください。

送信機の充電ランプ(緑)が点灯します。

CHARGE　CHARGE
充電中(点灯)　充電終了(消灯)

ご注意:
- 市販の充電池は本機では充電できません。
  必ず付属の専用充電式ニッケル水素電池をお使いください。
- 十分に充電しても使用できる時間が短くなったら充電池の交換時期です。
  充電池を交換するときは必ず指定の充電池をご利用ください。詳しくは、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。 ➡部品交換・購入の際には(2ページ)

故障かな？と思ったら

＊ ヘッドホンの電源を入れても音が出ない
- ➡ 送信機にACアダプターを正しく接続してください。
- ➡ 送信機とソース(音源)機器を正しく接続してください。
- ➡ ソース(音源)機器の電源を入れて、再生を開始してください。
- ➡ ソース(音源)機器の音量を上げてください。
- ➡ ヘッドホンの音量を上げてください。
- ➡ 送信機とヘッドホンを近づけてください。

＊ L側(左)からしか音が聞こえない
- ➡ モノラル機器に接続すると、L側(左)しか聞こえません。
  別売りのアダプター(AP-112A)をお使いください。

＊ 音がひずむ
- ➡ 充電、または新しい電池と交換してください。
- ➡ ソース(音源)機器の音量を調節してください。
- ➡ ヘッドホンの音量を下げてください。

＊ 音が途切れる、ノイズ(雑音)が出る
- ➡ 充電、または新しい電池と交換してください。
- ➡ 送信機とソース(音源)機器が正しく接続されているか確認してください。
- ➡ 送信機とヘッドホンの周辺にある、2.4GHzの周波数を使用する機器(電子レンジ、無線LAN、コードレス電話など)を本機から離してください。

＊ 充電できない
- ➡ ヘッドホンのスライダーを一番短い状態にして送信機に置いてください。
- ➡ 送信機にヘッドホンのL/Rを確認してきちんと置いてください。
- ➡ 送信機やヘッドホンの充電端子に汚れがないか確認してください。汚れがある場合は、柔らかい布でふいてください。
- ➡ ACアダプターの接続を確認してください。

使用上のご注意

- ■ 病院など、使用が制限または禁止されている場所では電源を切り、使用しないでください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。
- ■ イヤーパッドは通常の使用や保存状態でも、経年変化で自然劣化する場合があります。劣化時は早めにイヤーパッドの交換をお勧めいたします。

➡部品交換・購入の際には(2ページ)

- ■ 本機は、傾いた場所や不安定な場所におくと落下し、故障やけがの原因になる場合があります。安定した水平な場所においてください。
- ■ コードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。必ずプラグを持って抜いてください。
- ■ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、湿気の多いところでのご使用、放置は故障の原因になりますので避けてください。
- ■ 汚れがひどい場合は中性洗剤などでふきとってください。シンナーやベンジンなどは絶対に使わないでください。
- ■ 本機の近くでラジオや携帯電話などをお使いになると、ノイズが入ることがあります。そのときは本機から離してください。
- ■ ヘッドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止してください。使用を続けると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。
- ■ コードは伸ばして使用する。釘などの固定や、束ねたままでの使用はしないでください。
- ■ 使用後は、機器のスイッチを必ず切るようにしてください。

操作する

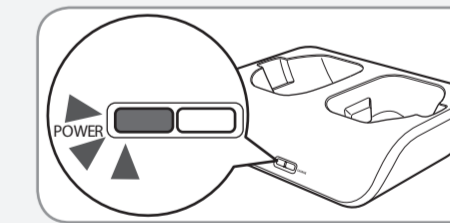
1. ヘッドホン(右側)の電源ボタンを長押し*して、電源を入れる。
   ヘッドホン(右側)の電源ランプ(赤)が点灯します。
   電源を入れると、ヘッドホン(左側)の信号ランプ(緑)が点滅し、送信機と接続すると点灯します。
   ＊長押し：約1秒押す。

2. ソース(音源)機器の電源を入れる。
   音声信号が入力されると自動的に送信機の電源が入り、送信機の電源ランプ(赤)が点灯します。

3. スライダーを調節してヘッドホンを装着する。
   装着の際に、髪の毛などをスライダーに挟まないようご注意ください。

4. ヘッドホン(左側)の音量ボタンを押して、音量を調節する。
   - 音量を最大にしても音が小さい場合は、ソース(音源)機器の音量を上げてください。
   - 音がひずむ場合は音量を下げてください。
   - 音量が最小または最大になると、ピー音でお知らせします。

POWER

− VOL. +

使い終わったら

ヘッドホン(右側)の電源ボタンを長押し*して、電源を切る。

ヘッドホン(右側)の電源ランプ(赤)が消えます。

- 音声の入力が約３分間ないときは、送信機からの電波を停止し、自動的に送信機とヘッドホンの電源が切れます。
- 電源が切れたときの音量は記憶されていません。ヘッドホンの電源を再び入れると、音量は初期値になります。